

カノコソウ産地化 取り組み事例紹介

草 野 農 場

1)取り組みの経緯

2)取り組みにあたり出てきた課題

a)栽培時

b)加工調整時

3)新たな取り組みに向けて

1)取り組みの経緯

草野作工株式会社 (www.kusanosk.co.jp)



公益財団法人

北海道内5地区170ha
・ナショナルトラスト事業
(河畔林保全)
・植栽事業

総合建設業
(ランクA)

農業生産法人
(農地4.5ha)

太陽光発電
(共同事業)



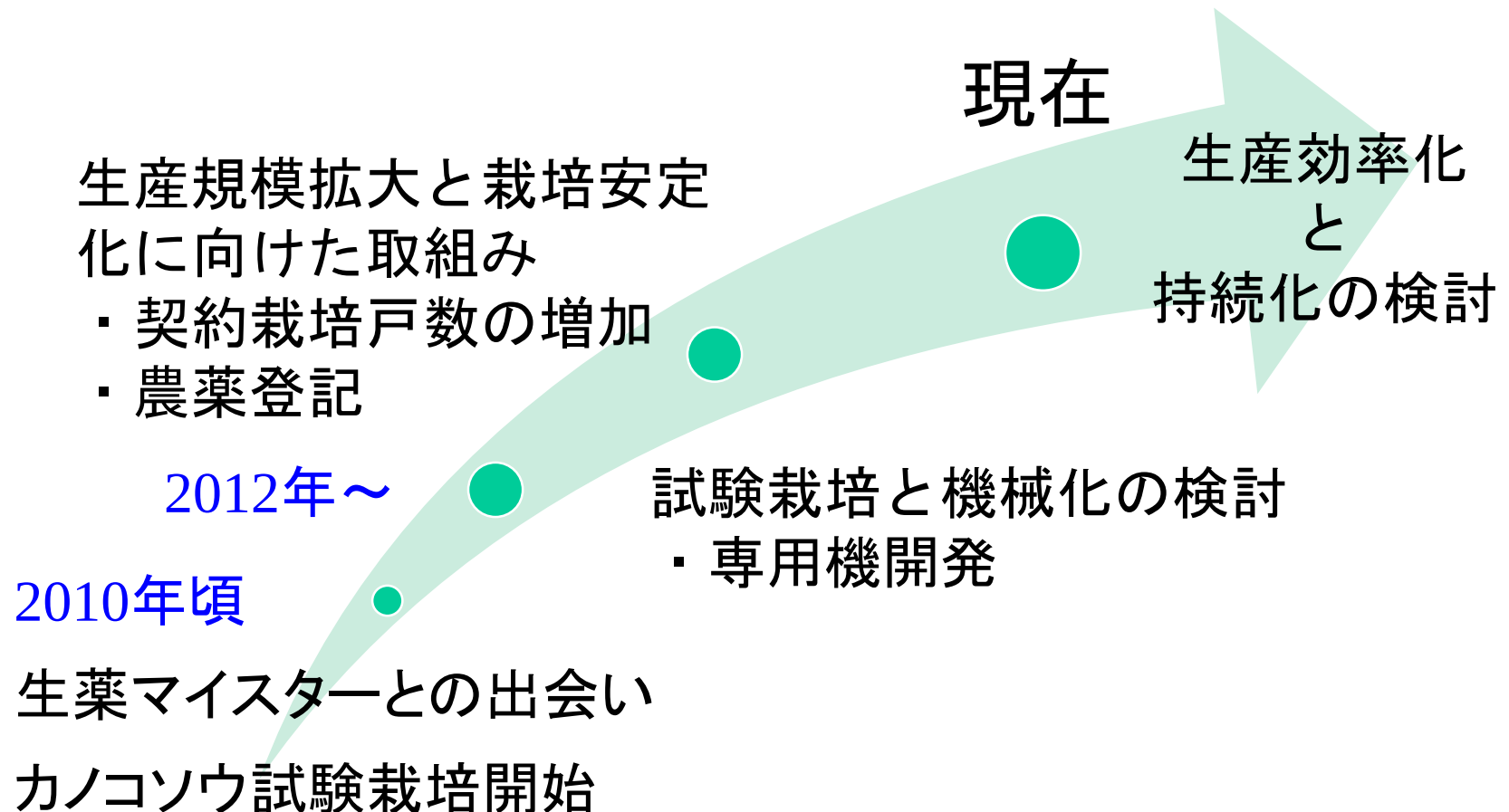
北海道内4地区
630万kwh/年
(世帯換算1800戸)

野幌原始林ファーム



カノコソウ栽培に特化

小林製薬＝草野作工の取組み



2)取り組みにあたり出てきた課題

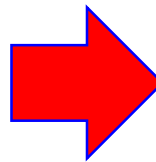
a)栽培時

b)加工調整時

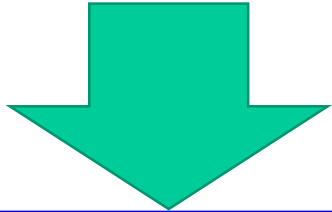
◆課題

栽培にあたり7月末より8月初めにかけて枯れてくる現象が発生

順調に育っていたカノコソウが夏に急に溶けてなくなる・・・



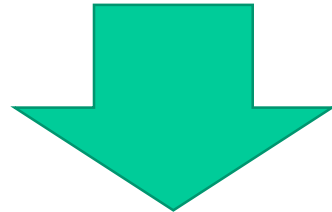
カノコソウ伝説＝お盆過ぎに無くなる 病原菌による障害の可能性



草野農場より長沼中央農試持ち込み

＊農試では同定のみ対策案は無し＝独自解決に向け取り組み開始

**糸状菌(かび) バーティシリウム半身萎凋病と断定
中央農試が学会発表しバーティシリウムを登録**



**小林製薬依頼のもと医薬基盤研究所などが
殺菌剤の適応拡大試験の実施**

**半身萎凋病の予防のための殺菌剤 ベンレートの
適応拡大登録することができた**

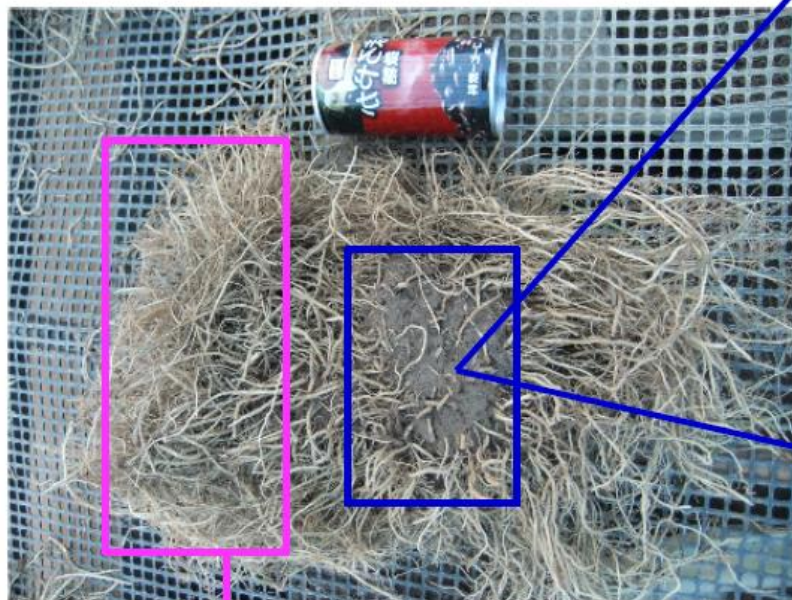
2)取り組みにあたり出てきた課題

a)栽培時

b)加工調整時

◆課題

根塊の土が落ちない ハンマー等で叩く処理を実施



・細根の切断、洗浄は容易



株根の泥落とし→洗浄



スライスして分解

すべて手作業、冷たい、効率悪い、儲からない



葉除去: 人力

細根落し: 人力

洗 浄: 細根

*乾燥機最大処理500kg/日



生薬マイスター 古木氏監修のもと 草野作工＝小林製薬で専用洗浄機を開発

○トロンメル 押しつぶし&株ほぐし土落とし



○洗浄機



◆機械化前後の工数比較

※10aの調整作業工数

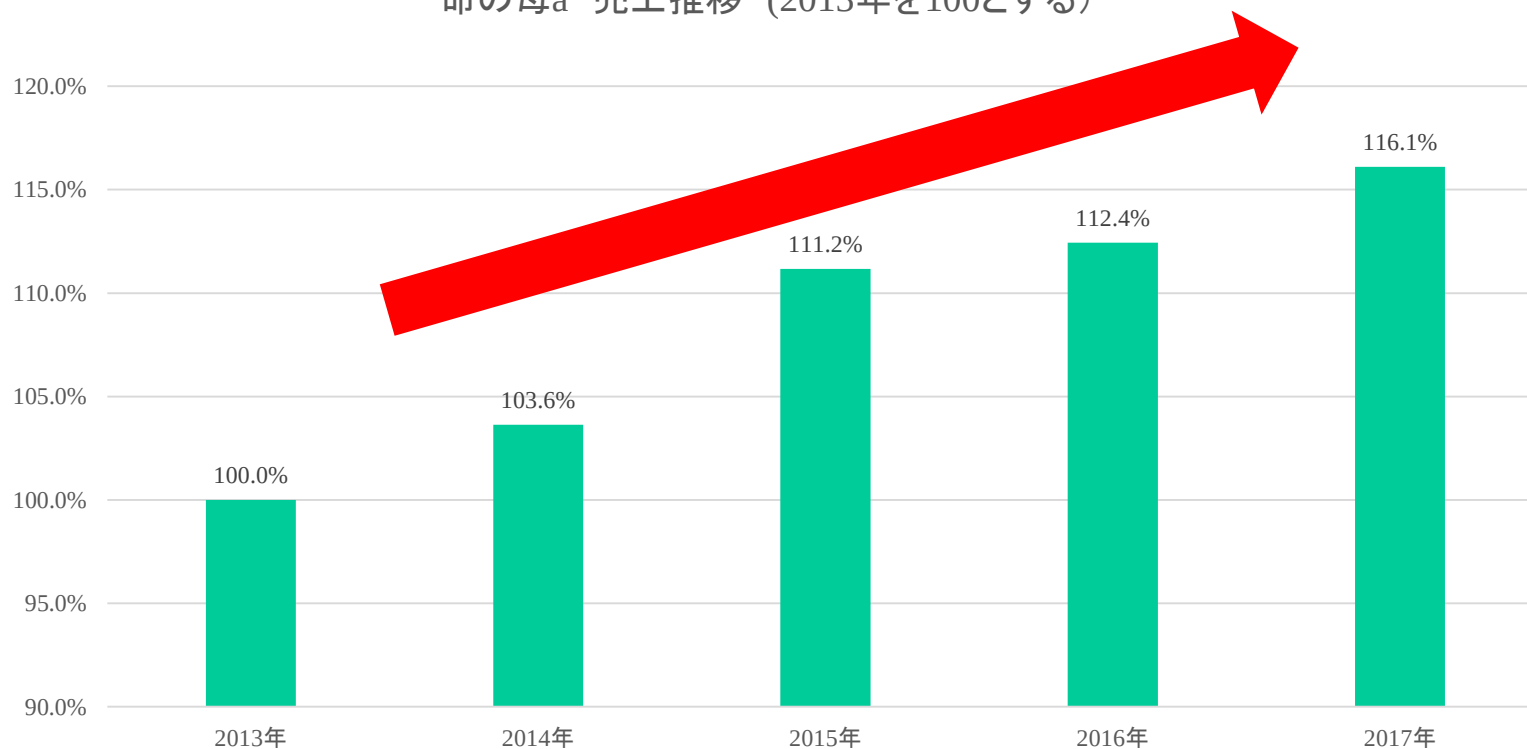
	機械化前	機械化前	機械化後	機械化後
掘り取り 土落とし	10人	8H	10人	8H
根切り	8人	8H	—	—
株 根調整	8人	8H	12人	8H
洗浄	8人	8H	2人	8H
工数合計		272H		192H

★洗浄の機械化により約30%工数削減を実現することができた

3)新たな取り組みに向けて

★カノコソウを使用している製品 命の母aの売り上げがインバウンドの 影響もあり右肩上がり

命の母a 売上推移 (2013年を100とする)



◆新たな課題

生産量拡大する必要が出てきた



チャレンジ！

- ①生産者増による面積の拡大
- ②栽培持続性(生産農家の維持)
- ③ナーセリーの構築